

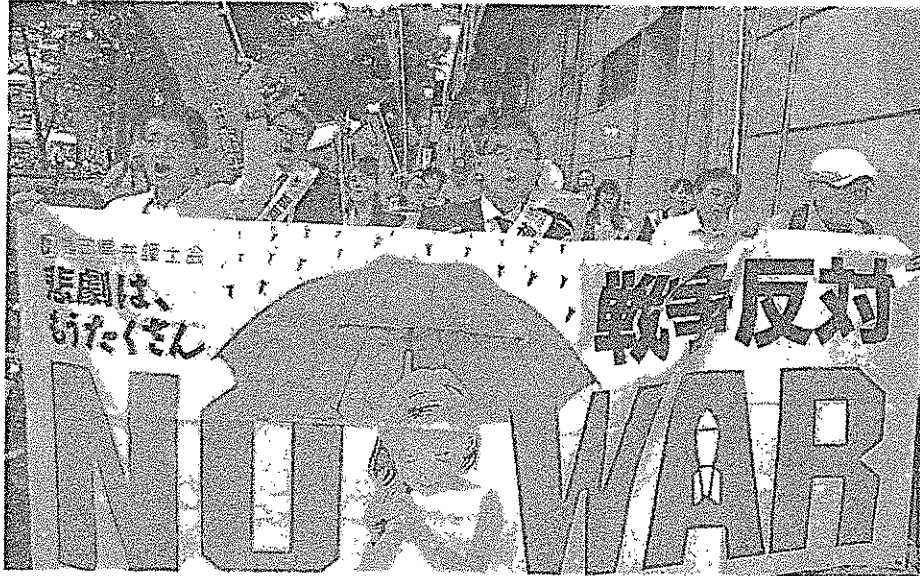
「戦争法案廃案は可能」

福岡県弁護士会が集会・行進

福岡県弁護士会は22日、憲法違反の戦争法案を廃案にしようと、福岡市中央区で「市民集会」を開きました。市民をはじめ、市民団体、労組、政党などから約700人が参加し、集会後、「アベ政治を許さない」「戦争で 平和？」などのプラカードを手に九州最大の繁華街、天神の街をパレードしました。

斉藤芳朗会長は「安全保障法制という名の戦争立法が承認されたからといってあきらめることはできない。戦争立法を廃案にし、平和で安全な日本の社会を守っていく」と訴えました。

各党があいさつ。日一院議員は「立憲主義を本共産党の田村貴昭衆一ふまえず、国民主権も



パレードする左端から日本共産党の田村貴昭衆院議員、県弁護士会の斉藤芳朗会長ら。22日、福岡市

ないがしろにする安倍政権の政治は許せない」と批判し、「国民の力で戦争法案を廃案にすることは可能だ」と激励しました。

福岡県司法書士会会長があいさつ。学生らが登壇し「戦争法案の強行採決に恐怖を覚えた。将来、後悔しないため、私たち学生がいま声をあげるとき」と訴えると、参加者は共感の拍手を送りました。

粕屋町から参加した浅野隆樹さん(50)は「4歳の息子ら子どもたちを戦場に行かせないため、必ず戦争法案を廃案にしたい」と話しました。